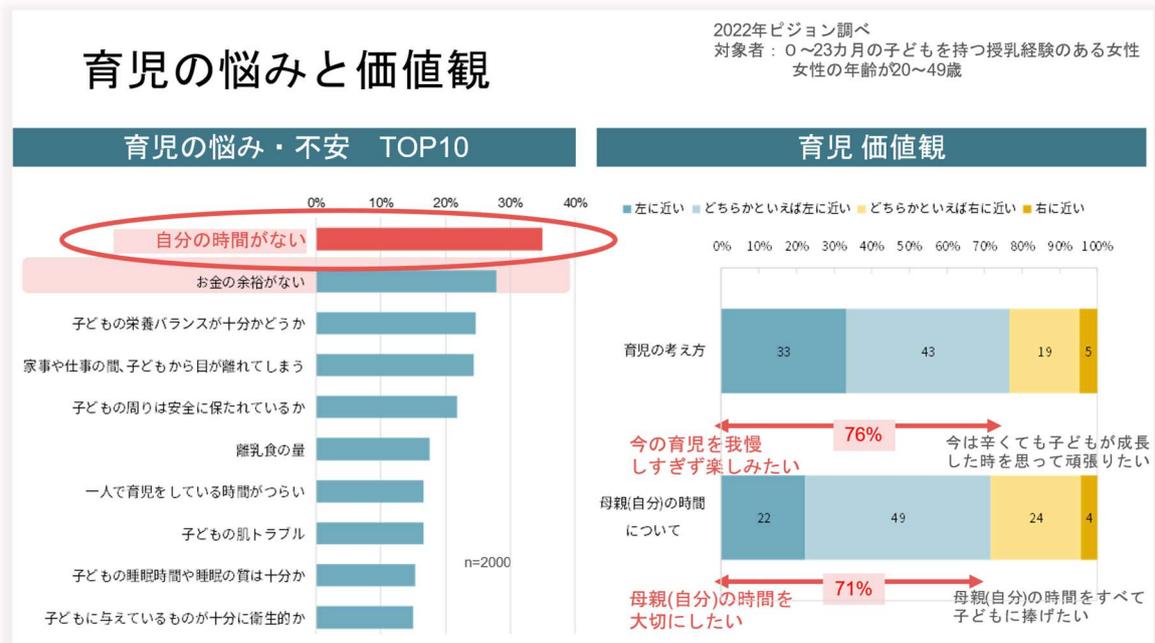


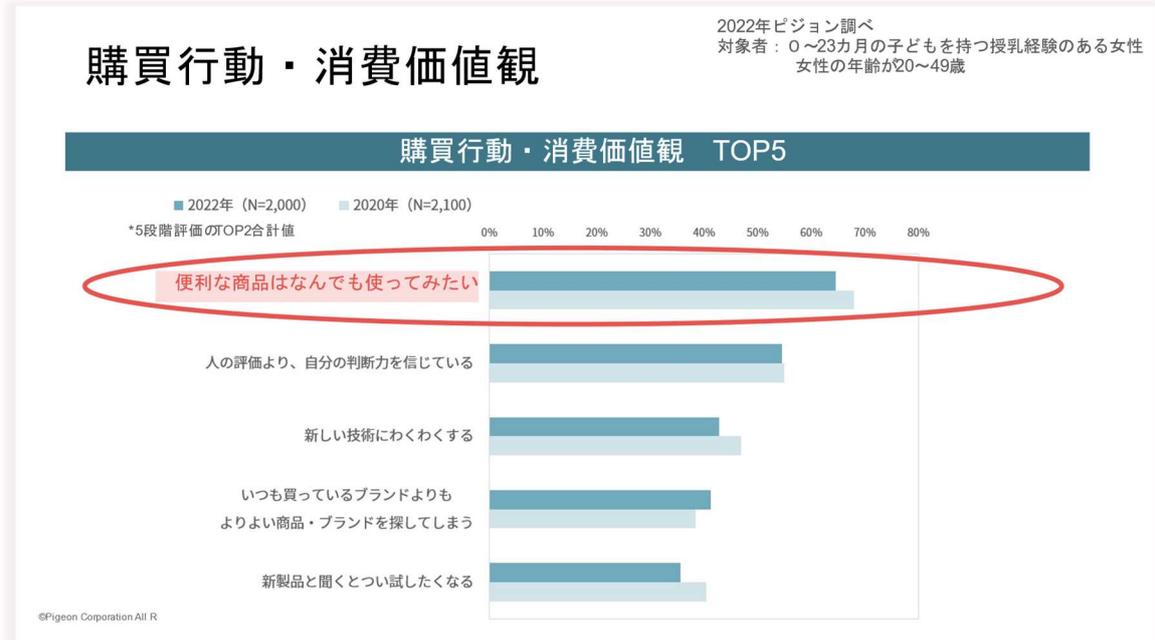
# 育児・母乳に関する意識調査結果のご案内

ピジョンでは育児・母乳に関する意識調査を、0～23 か月の子供を持つ授乳経験のある 20～49 歳までの女性を対象に実施しました。(2022 年ピジョン調べ：n=2000)

育児の悩みと価値観について、ママたちの育児の悩み・不安のナンバーワンは「自分の時間がない」という結果で、「育児は我慢しすぎず楽しみたい」「自分の時間を大切にしたい」と考えている方が 7 割以上を占めています。(表 1)



購買行動・消費価値観に関する調査結果では、「便利な商品はなんでも使ってみたい」と回答したママが最も多い結果でした。(表 2) また別の育児に関する調査結果において、さく乳器所有経験率を調べたところ、さく乳電動タイプは 2018 年 7.4% から 2023 年 16.7% と倍以上に増加しており、一方で手動タイプが減少していることが分かりました。(表 3)



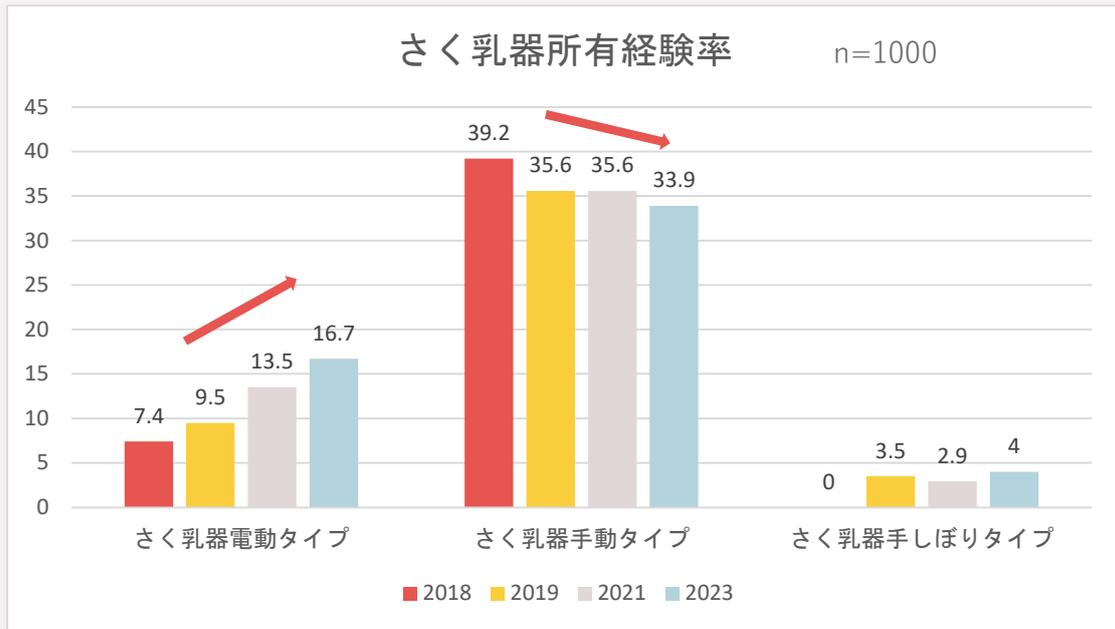


表 3

※2023年8月ビジョン調べ 育児に関する調査 対象者：0～2才6カ月のお子さまがいるお母さま

次に産前の想定授乳スタイルと、産後の実際の授乳状況についての結果です。産前のママで、少しでも母乳を取り入れたいと考えている人は95%。実際の母乳育児者は82%で、想定していた人の割合よりも少なくなるという結果になりました。(表4)

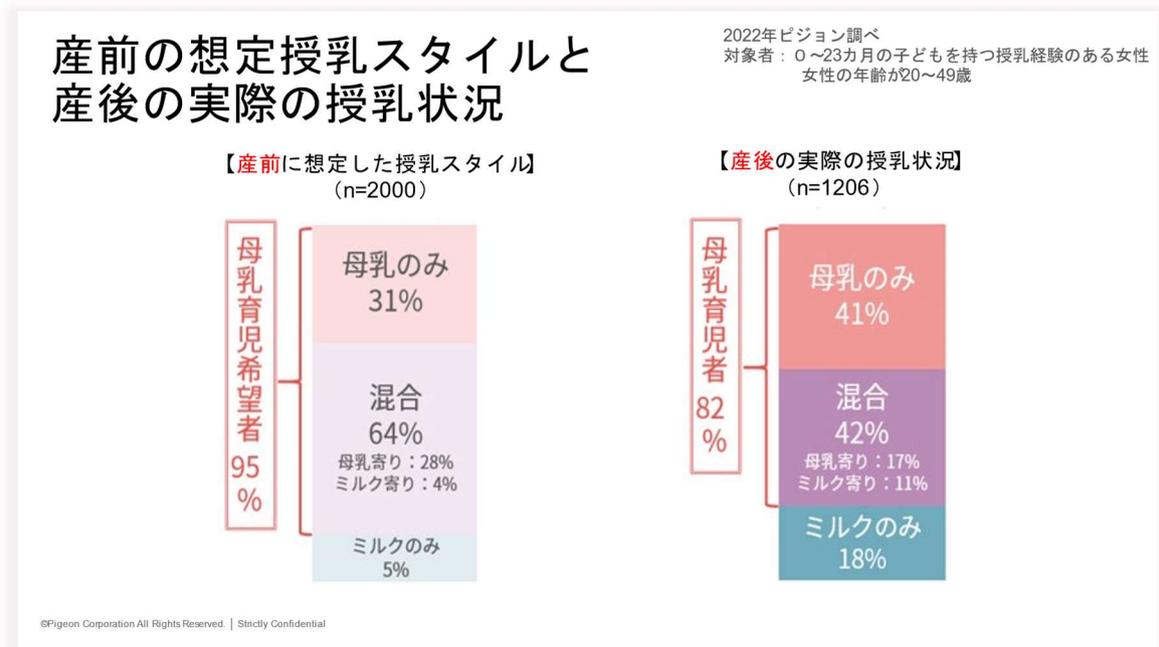


表 4

2020年と2022年で比較すると、産前に母乳のみ+母乳中心を希望する割合、及び実際に母乳のみで授乳をする割合は減っており、ミルク育児が増えている状況です。

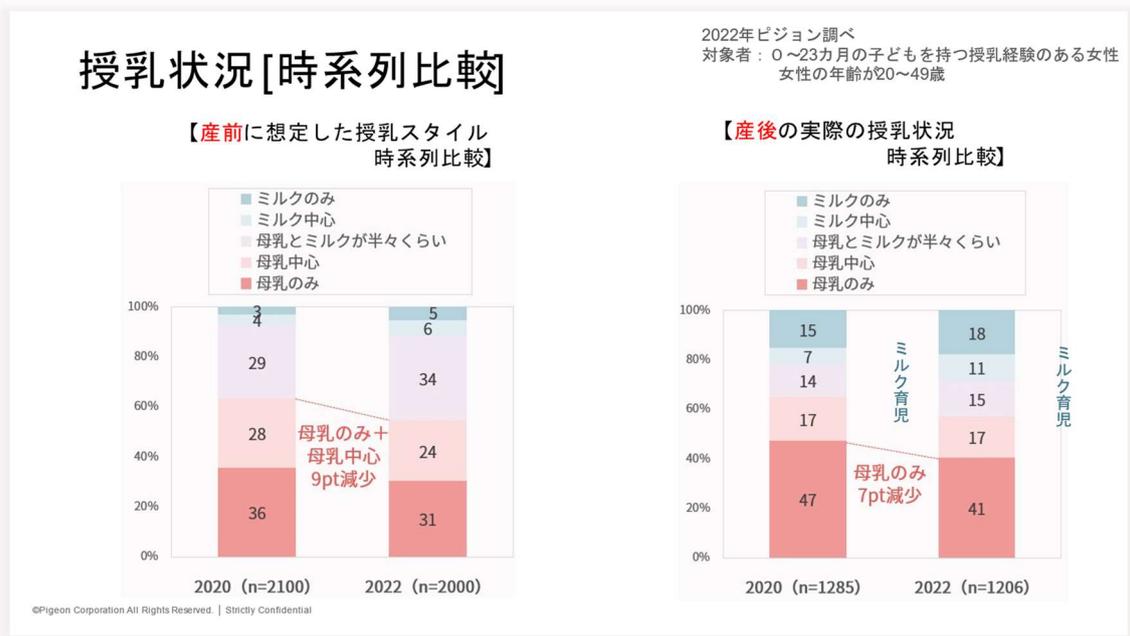


表 5

また授乳方法についてこだわりを持たないママが増えており（表 6）、母乳のみの授乳方法が減っている要因の1つと考えられます。

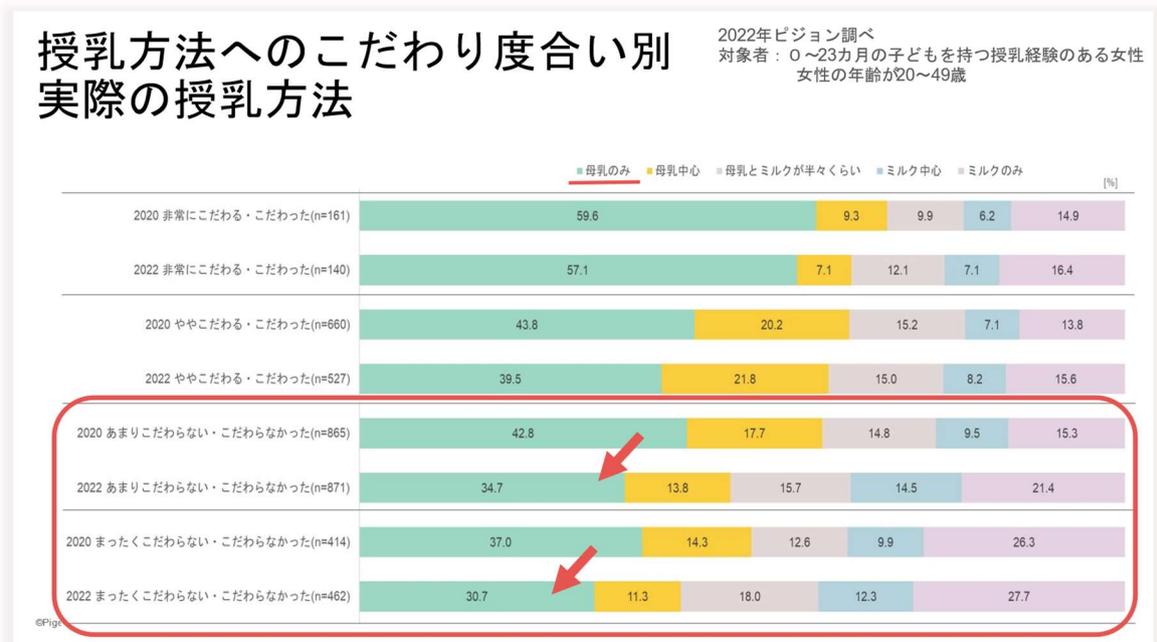


表 6

またパパの育児参加とママの要望についての調査結果では、7割以上のママがパパに「十分育児参加をしてくれている」と感じている一方で、月齢6ヵ月以上では5ヵ月以下に比べると「もっと参加してほしい」というママが多くなっています。(表7)

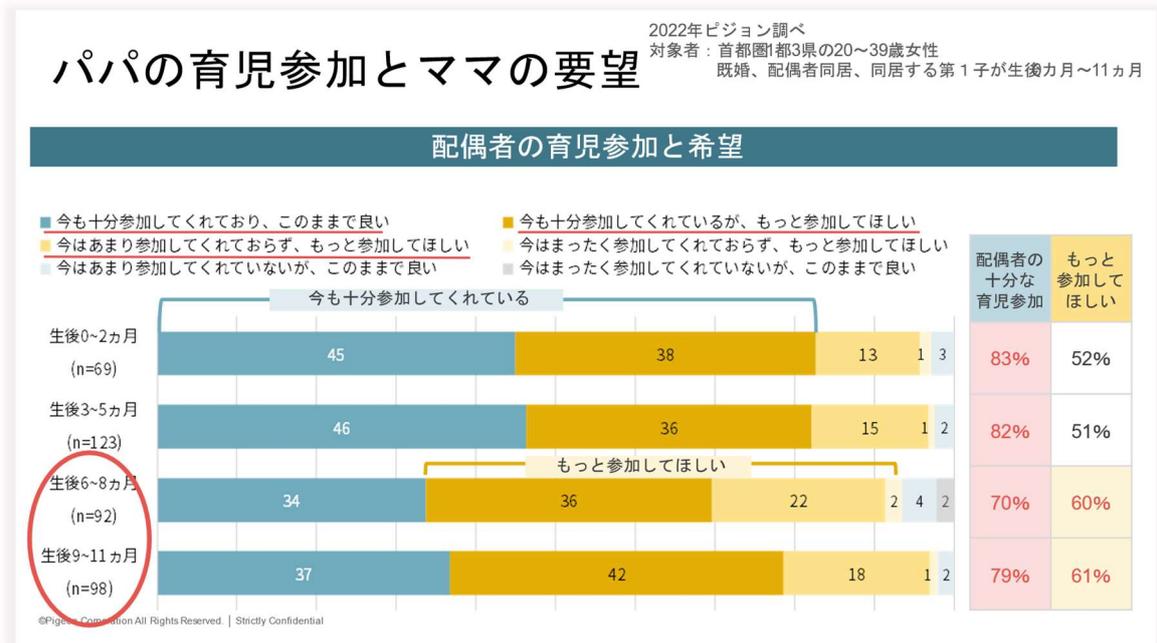


表7

母乳育児に対する価値観に関しては、「自分に合った授乳スタイルを見つけたい」と考えているママが多かったです。病院や助産師さんのアドバイスを聞きつつ、自分に合ったスタイルをより重視する傾向がありそうです。(表8)

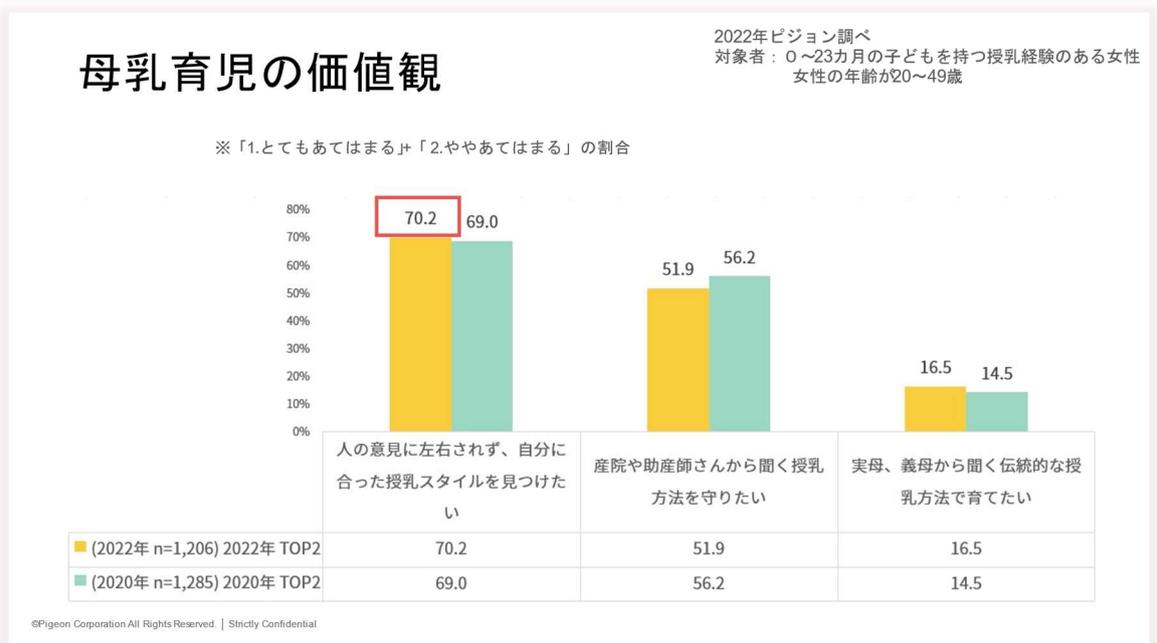


表8

つまり、授乳をママだけの負担にせず、パートナーと分担したいというママが増えており、また、自分で試行錯誤しながら授乳スタイルを確立したいと考えているママが多いということがわかりました。イマドキのママの育児や母乳に対する意識を把握していただき、日々の患者様とのコミュニケーションやケアにお役立ていただければ幸いです。